



本人通知制度

導入時期は。
戸籍謄抄本などの不正取得が明らかになった場合に、その事実を被害者全員に通知する事実告知型による本人通知制度を26年度内に実施するよう取り組む。

電線地中化

今後の取り組みは。
現在、国でさらなる無電柱化の推進に向けた検討が進められているので、その動向を注視しつつ、引き続き災害に強いまちづくりと良好な都市景観の形成に向け、無電柱化に取り組んでいきたい。



市退職職員の再就職

再就職候補者選考委員会委員には現職の局長が入っているが、公平性や客観性を担保できるのか。
より客観性を確保するため、26年11月に委員構成を見直し、全ての委員を職員以外の外部委員とした。

災害用備蓄倉庫の整備

現在の整備状況は。
25年度までに72カ所の整備を終了した。26年度は54カ所を予定しているが、このうち25カ所は、資材高騰などの影響で年度内での整備が困難な状況となっている。



市内の小学校にある災害用備蓄倉庫



通学路の安全対策

大戸小学校における通学路と周辺の安全対策は。
スクールゾーンの標示や注意喚起表示などの設置は既に対策を実施し、路面標示の補修などは今後実施していく予定である。その他の未対策箇所も検討を進めており、児童の安全確保に努めている。

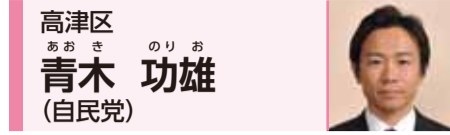


大戸小学校(中原区)

市立高校入学時の納入金

学校によって金額に差異がある理由は。
実習や作業着などにかかる費用が普通

科と専門学科で異なるため、納入金額に差異が生じている。



観光施策

映画や漫画、アニメなどのコンテンツ事業を戦略的に進めるべきでは。

市が映画や漫画などの舞台になるよう、市の特徴ある街並みや工場などを国内外に積極的にPRし、都市イメージの向上や観光振興につなげていきたい。

一日保育士体験

保護者が保育士として一日クラスに入り、子どもたちと触れ合う一日保育士体験の実施状況は。

市でも半数の公立保育所で実施しており、今後、未実施の施設にも拡大したい。



市内の公立保育園で実施している一日保育士体験



陣痛タクシー(★2)

市内をサービスエリアにする事業者が少ない。積極的に働きかけるべきでは。

陣痛タクシーを必要とする人に対し、サービス内容に関する情報提供などを関係団体などと連携し、検討していきたい。

重度障害者の在宅支援

現行の入浴介護事業は月6回、夏季は8回だが、月10回程度に増やすべきでは。
利用状況を踏まえながら、介護保険における訪問入浴介助の利用と負担の整合性や他都市の状況などを含めた入浴サービス全体のあり方を検討していきたい。



区役所機能の強化

区役所が担うべき役割の検討状況は。
市民目線に立ち、市民生活に密着した区役所が身近な課題にスピーディーできめ細やかに対応できるよう、区の権限や機能などに関する検討を進めている。

宮前区の地域課題

26年度の緊急的な課題への区の対応は。
育児不安解消などのために地域子育て支援センターの案内チラシを作成したり、震災時の来庁者の安全確保のために区役所などのエレベーター内に防災キャビネットを設置する予定である。



宮前区の地域子育て支援センターの案内チラシ



スポーツ振興支援策

多摩川河川敷にある幸区古市場の陸上

競技場ではマラソン大会の開催が活発であるが、安全対策は。

野球場やサッカー場といった周辺施設の利用状況などを情報提供し、参加者や周辺施設利用者の安全に配慮した運営を行うよう主催者に依頼している。

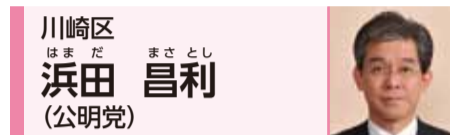


古市場陸上競技場(幸区)

市営河原町団地の老朽化対策

入居開始以来40年以上経過しているが、玄関扉などの鉄部塗装の修繕計画は。

劣化の状況は設置場所などによりさまざまだが、計画的に実施していきたい。



障害者福祉サービス

障害配慮条項の通知やホームヘルプ利用者負担減免制度の広報が不足では。

サービス利用者で65歳を迎える人には、区職員が制度の説明を行い、ホームヘルプ利用者負担減免制度は、市ホームページへの掲載などで周知を図っている。

市民農園

市民農園や援農ボランティア育成研修の広報の充実は。

市政だよりのほか、市ホームページやメールマガジン、農業情報紙など多様な媒体を通じて広報の充実に努めたい。



千代ヶ丘市民農園(麻生区)



地域連携クリティカルパス(★3)

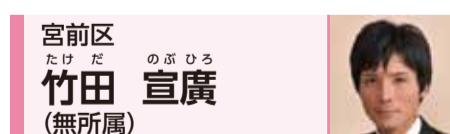
広く具体的に推進するべきでは。

市立病院では脳卒中やがん治療などで地域連携クリティカルパスを活用している。今後も限られた医療資源を有効活用するため、このパスの活用も含め、地域完結型の医療の推進に取り組むたい。

木材の利用

児童相談所や重度障害者施設に、木材の持つ温かみや癒やしが有効ではないか。

今後、学校や児童福祉施設などの建築や改修を行う際には、内外装の木質化など木材の利用促進を図ってきたい。



電力入札

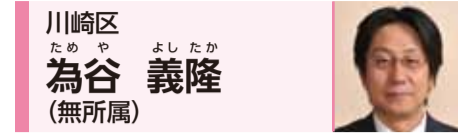
電気事業者のランク付けがおおまかであり、改善が必要では。

毎年度見直しを検討しており、適切に判断できる基準としている。今後も、国や電気事業者の動向などや他都市の状況も参考にしながら対応していきたい。

市バスの安全対策

24年3月にサイドブレーキと車輪につける輪どめをしなかったことによる無人バスの暴走事故に遭遇した。安全対策は。

改めて文書通知するとともに、街頭指導を行い、更なる徹底を図っていく。



自治体のアプリケーションの活用

開発・提供サービスを検討する上で、どのような分析スキームを設定するのか。

市ホームページのアンケート調査を通じ、さまざまなニーズの把握を行った。今後、関係局で連携し、アプリケーションサービスの内容の検討を進めたい。



実証実験中の麻生区「子育て支援アプリ」

市バスのサービス向上

専門調査員による朝のラッシュ時など利用者に厳しい状況での調査が必要では。

混雑時など特定の状況での把握も重要と認識しており、効果的な把握手法を検討していきたい。



都市計画道路(★4)

20年に都市計画道路網の見直しを行ったが、現在の都市計画道路の必要性は。

都市構造や市街地の形成など重要な都市基盤として着実に整備する必要があると認識している。

道路予定地の活用

道路予定地が行政財産の管理上の課題だが、利用状況と今後の活用方針は。

交差点付近は歩行空間などの確保のため暫定整備し、駅周辺は駐輪場に利用している。今後は、資産マネジメントカルテの実施方針に基づき取り組んでいく。

用語の解説

P4

★1 合計特殊出生率
15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が一生の間に産む子どもの数に相当します。

P5

★2 陣痛タクシー
住所地や出産予定病院などの情報をタクシー会社に事前登録し、陣痛が起こった際に連絡すると登録情報に基づき24時間迅速にタクシーが配車されるサービスのことで。

★3 地域連携クリティカルパス
地域の病院や診療所などが連携・協力しながら、患者の状況に応じて治療するための診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関などで共有して用いるものです。

★4 都市計画道路
都市の骨格を形成し、安心で安全な市民生活と機能的な都市活動を確保するために、都市計画法に基づいて計画された道路のことで。